

夏休みも近づき、生徒たちはいろいろと休業中の計画など立てているこの頃かと思いますが、保護者の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、今年、3月に実施された市の学習状況調査の結果につきまして、教科および生活・学習意識の分析がまとまりましたのでお知らせします。なお、個人の結果については、担任より一人ひとりにお知らせしてあります。

2006年度(平成18年度)横浜市学習状況調査1学年結果まとめ

国語科

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

通過率から見た場合、理解できている観点は「言語事項」の「読み」と、「読むこと」の「説明文」であった。著しく低い結果となったのは「言葉のきまり」と「聞き取り」であった。問題文の理解も含めて基本的な事項の定着が今後の課題だと思われる。

☆ 重点化して指導を行う内容・改善の具体策

引き続き、基本的な事項の学習内容に重点を置いていく。「話す・聞く」の観点に関しては、聞き取りの学習や、発表の形式、討論などを意識的に取り入れ数多く経験させるようにしていきたい。また、言語事項に関しては、反復学習やふりかえりをしっかりと行う工夫をしたい。

社会科

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

通過率を見ると地理的分野の「思考・判断」、また事項別では「世界の主な国名と位置」「地図記号」についてはよく理解できていた。市より通過率の特に低いものは「技能・表現」「知識・理解」です。また歴史的分野の基礎的な事項が定着しておらず、全般に市より低い結果となっています。

☆ 重点化して指導を行う内容・改善の具体策

基礎的な学習の定着を心がけていますが、今後さらに努力します。歴史的用語の「読み・書き・内容」をおさえ、歴史の流れの中で理解する取り組みの必要を改めて認識しました。学習へ興味をもって、授業で獲得した知識や技能が保持できるようにふりかえり学習を積み重ねていきます。

数学

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

領域別にみると、「図形」領域の達成率が他の領域に比べて優れている。また、観点別では「表現・処理」が他の観点より若干優れている。反面、「数と式」領域など、小学校からの系統性が強い内容の達成率が市平均との比較で10%以上低い。積み重ねが必要な内容、例えば計算力などの定着に課題がある。

☆ 重点化して指導を行う内容・改善の具体策

- ・基礎的な計算力をつけるため、ドリル的な学習を多く取り入れる。
- ・落ち着いて学習できるよう、学習に取り組む基本姿勢の確立に努める。

理 科

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

各観点において、市の平均値を下回っている。これは、度数分布を見ると学力差による二分化が見られた結果と考えられる。特に知識・理解分野の定着を図ることが二極化に防止につながる事が予想される。

☆ 重点化して指導を行う内容・改善の具体策

知識理解分野での、反復練習的要素を取り入れることで、基本事項を覚えることにつなげたい。また、入手した知識を組み合わせ、現象を解析する力を養うために実験結果の解析をより時間をかけて行うことで思考力の向上を狙いたいと考える。

英 語 科

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

英語を理解するという領域の聞いて内容を把握する力は概ねついてきているように思われます。また、単語を正確に書く力も日々の練習の成果が徐々に表れてきているようです。

課題は読解で長文を読み内容を理解する力を今後さらにつけていきたいと思えます。読解の練習を行なうことで英語の文の仕組みも自然に理解し、英語力全体を引き上げていく大きな力となっていくことと思われます。

☆ 重点化して指導を行う内容・改善の具体策

教科書の暗唱を徹底化し、暗唱にとどまらずその英文を書く練習を繰り返し行なうようにしていきます。長文読解を授業や定期テストでも随時行なうようにし、英文を読むことに慣れていくようにしていきたいです。聞き取る力をさらに伸ばせるようにAETとの授業におけるアクティビティを積極的に取り入れ、本物の英語に触れていくよう授業を工夫していきたいと思えます。

生活・学習意識調査の分析・検証

☆ 下瀬谷中の傾向(優れている点・課題があると考えられる点)

一月の読書量0冊と答えた割合は44%(市33%)、また、家庭での学習時間が「ほとんどしない」「30分より少ない」を合わせると40%(市32%)です。自分で毎日勉強することや本を読むという習慣ができていない生徒の割合が高いことがわかった。そのためか、「授業がよくわかる」「だいたいわかる」を合わせて35%、市53%に比べて18%も低い。この状況をふまえて今後の授業改善に努めていきます。

☆ 家庭との協力の呼びかけ

学力は自分でこつこつ学習することで身につくこと、家庭学習の必要をさらに生徒に実感させるとともに、家庭に実態を伝え、協力と理解を呼びかけていきます。